



ニフクラご紹介資料

ニフクラと共に歩むデジタルトランスフォーメーション

2022年8月24日

富士通クラウドテクノロジーズ株式会社

Ver.3.2.0

社名	富士通クラウドテクノロジーズ株式会社 (FUJITSU CLOUD TECHNOLOGIES LIMITED)
事業概要	<ul style="list-style-type: none">クラウド事業ソリューション事業
所在地	〒212-0014 神奈川県川崎市幸区大宮町1番地5 JR川崎タワー
設立	1986年2月4日 (2017年4月1日ニフティ(株)より社名変更)
資本金	1億円 (富士通株式会社100%出資)
社員数	296名 (2022年4月1日現在)



ISP・Webサービスで培ったノウハウを活用。

1986 富士通および日商岩井（現：双日）の出資により株式会社エヌ・アイ・エフとして設立

1987 パソコン通信サービス「ニフティサーブ」を開始

1991 商号をニフティ株式会社に変更

1999 富士通のInfoWebをニフティサーブに統合し、「@nifty」を開始

2003 ブログサービス「ココログ」を開始

2006 東京証券取引所第2部上場

2010 **パブリッククラウド**「ニフティクラウド（現**ニフクラ**）」を開始

2016 上場廃止し、富士通の完全子会社化

2017 ニフティ再編に伴い、クラウド事業会社として商号を富士通クラウドテクノロジーズ株式会社に變更

「ニフティクラウド」は「**ニフクラ**」になりました



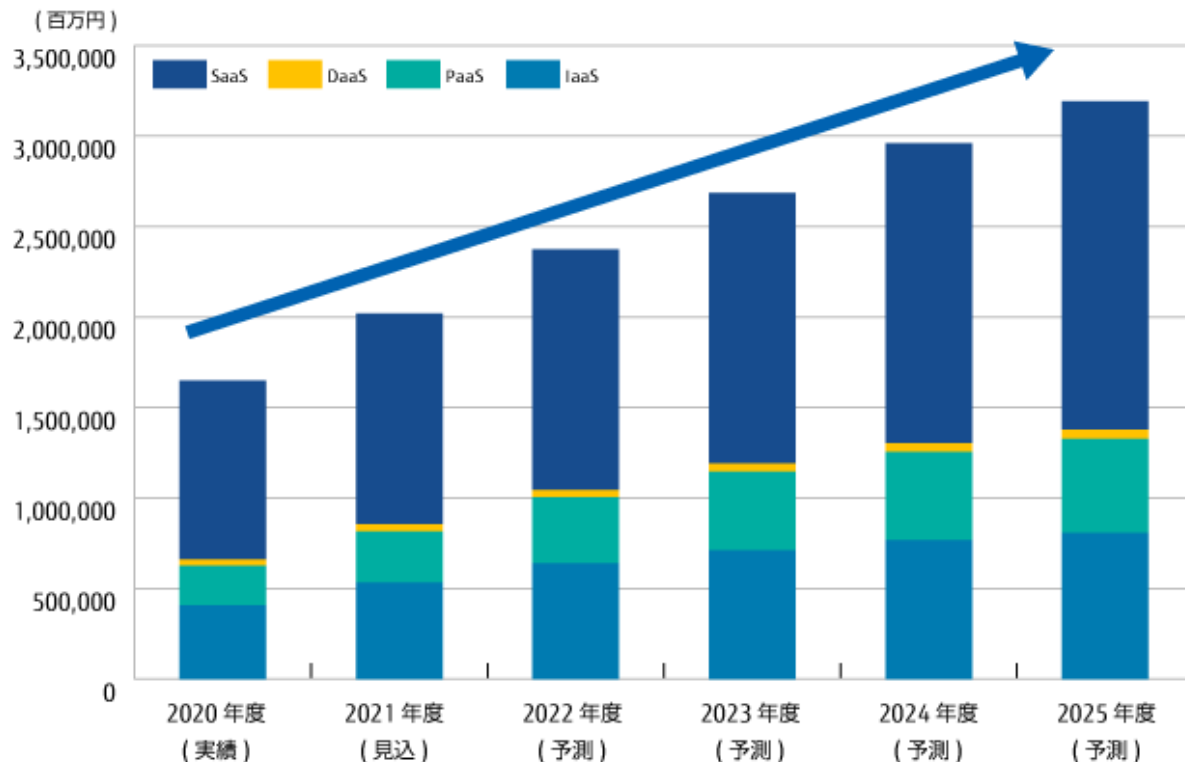
2020 ニフクラ提供開始から**10周年**



市場動向（クラウド利用の背景）

国内クラウドサービス市場は拡大中

パブリッククラウド市場規模推移



2025年度には
3.2兆円に到達

富士キメラ総研
「2022 クラウドコンピューティングの現状と将来展望（市場編）」より

企業活動に「貢献する」システムへ変革するために、クラウドの利用が進んでいます。

デジタルトランスフォーメーション (DX)

- データやデジタル技術 (AI・IoT) を活用し、ビジネスを変革すること
- オンプレミスでは、大量のデータ収集やSaaSなど外部サービス連携が困難

「2025年の崖」問題

- 既存システムの肥大化・複雑化が進み、DX推進の阻害要因に
- 原因
 - レガシーシステムの増加
 - IT人材不足
 - 保守運用費の負担増

クラウド・バイ・デフォルト原則

- 政府情報システムにおけるクラウドの利用に係る基本方針
- ITの導入や運用管理などの課題をクラウドで解決

柔軟性の高い
基盤が必要

12兆円の
経済損失

第一候補は
クラウド

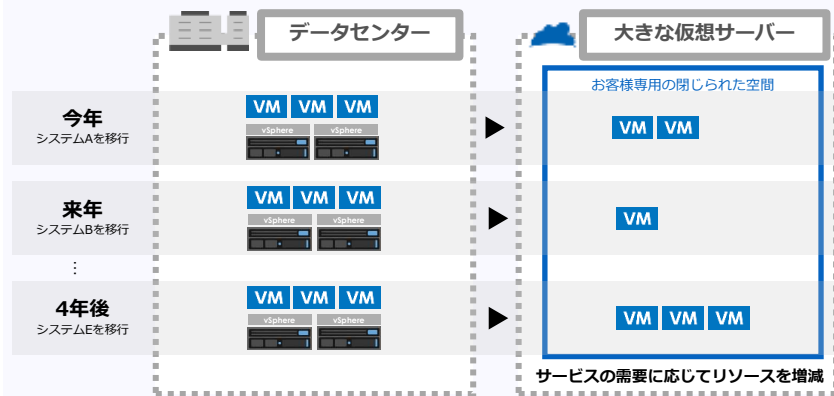
【メリット】ハードウェアからの脱却（リフト）

ハードウェアの運用コストを削減し、ビジネスサイクルにあわせたシステムに変革できます。

ハードウェア更新サイクルから脱却

クラウドに一度移行すれば、サービスの需要に応じて、好きなタイミングでリソースの追加・更新・削除が可能

リプレースが不要で柔軟にリソースを調整



IT担当者の運用コスト削減

OSより下層はクラウド事業者が運用するため、空いた工数でアプリケーションやシステムの改修に注力できる

クラウド移行後のIT担当者の業務



【メリット】DX推進でビジネスを拡大（シフト）

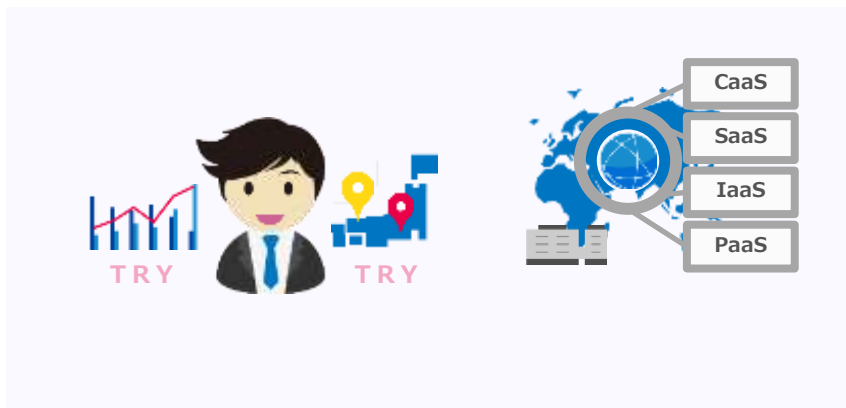
オンプレミス時代のまま移行したシステムを見直し、クラウドを活用したDX推進を目指します。

既存システムを見える化。クラウドネイティブに備える

システムの見捨選択、運用自動化やPaaS活用による効率化

データ活用やAIに対応したクラウドネイティブな基盤へ

クラウドや外部サービスの活用でビジネスメリット最大化



運用効率化やシステム基盤の最適化でDXを推進し、ビジネスを拡大

ニフクラとは？

VMware vSphere基盤の国産パブリッククラウド

「共同責任モデル」を採用し、データセンターとハードウェアの運用を当社が担当。



お客様責任範囲

- データ
- アプリケーション
- OS

Data

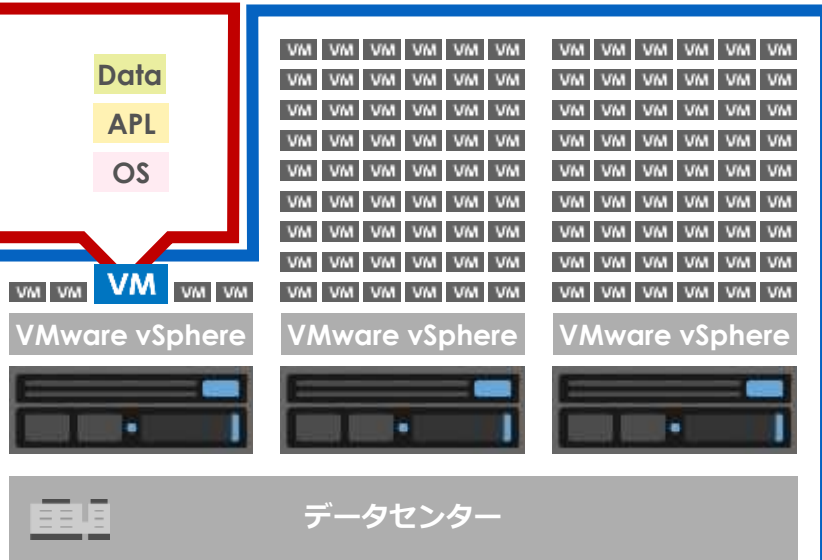
APL

OS



当社責任範囲

- 仮想化基盤の運用・保守
- ハードウェアの運用・保守
- データセンターの運用・保守



**ハードウェアを所有せずにVMware vSphereで
仮想化されたサーバー（VM）をご利用いただけます**

IaaSを中心に豊富な機能をオンデマンドで提供

FUJITSU

サーバー、ネットワーク機能などのIaaSから、PaaS、コンテナサービスまで常に新機能を追加。



コントロールパネルから
API公開中のIaaS機能

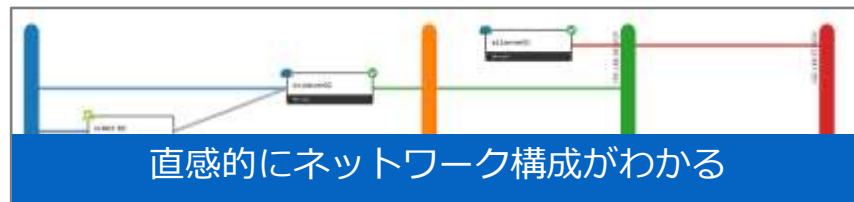
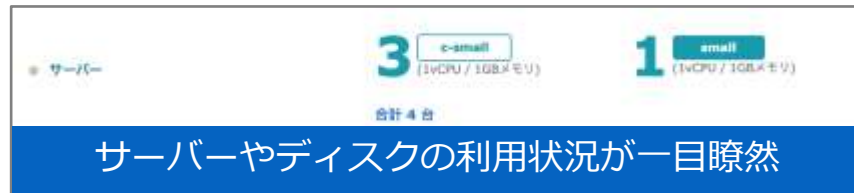
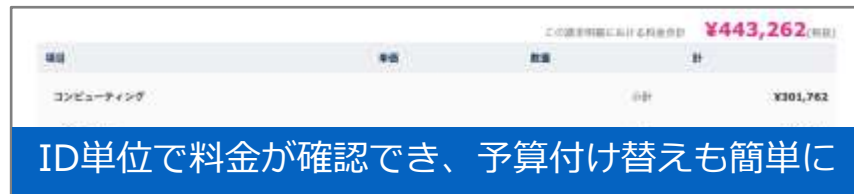
99%を利用可能



ブラウザ経由でコントロールパネルにアクセスし、簡単に利用可能

コントロールパネルの活用で運用管理コストを削減

VMware vCenter Serverや監視ソフトウェアが不要。パフォーマンスやリソースの監視、サーバーなどの利用状況やネットワーク構成の確認、料金の管理が可能です。



コントロールパネルからご利用いただける機能・サービスに加えて、お客様の課題を解決するサードパーティー製のソリューションサービスを提供しています。

セキュリティ

WAFを中心としたラインナップでお客様環境を守ります



GREDDセキュリティサービス



Scutum



攻撃遮断くん



Trend Micro Cloud One –
Workload Security



ESET Server Security



脆弱性診断サービス
Powered by GMOイデアエ

ネットワーク

CDNや高性能なL7ロードバランサーを利用いただけます



Fastly



J-Stream CDNNext



Ivanti Virtual Traffic Manager



HULFT



統合ネットワークサービス
(IPCOM VE2シリーズ)

サポート

専用サポートデスクがWindows Serverのトラブルを解決



サポート（富士通サポートデスク）

Red Hat Enterprise Linuxの長期運用をサポート



Red Hat Enterprise Linux AUS

バックアップ

バックアップ市場で代表的なアクロニス社の製品をご用意



バックアップ/セキュリティサービス
(Acronis Cyber Protect Cloud)

運用

業務運用を自動化し、安定稼働と低コスト運用を実現



Systemwalker Operation Manager

ライセンス製品

GitLab Enterprise Editionライセンスを提供

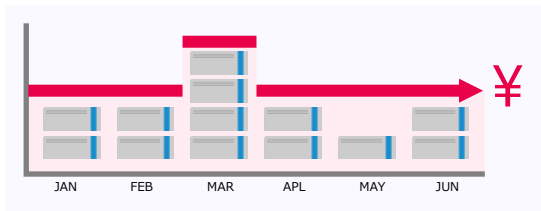


GitLab Enterprise Edition

以下がサーバー **1** 台(VM)から！

柔軟性

- サーバーの追加・削除が自由自在
- 柔軟に変更可能なサーバースペック
- 料金プランは、従量・月額から選択可能



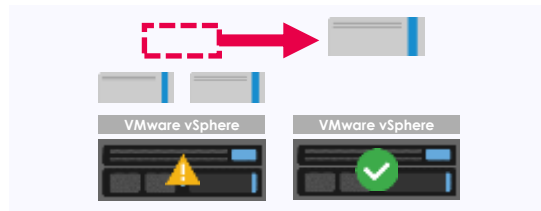
高性能

- オールフラッシュを採用したハイメモリ搭載のサーバー
- CPU・ディスク・ネットワーク性能を定期的に評価
- ベンチマークは本資料のAppendixをご覧ください ([こちら](#))



高信頼

- 基盤すべてを冗長化。メンテナンスでも「**停止しない**」利用環境を提供
- ハードウェアの負荷状況を監視。負荷に応じてサーバーを動的に移動し、パフォーマンスを確保



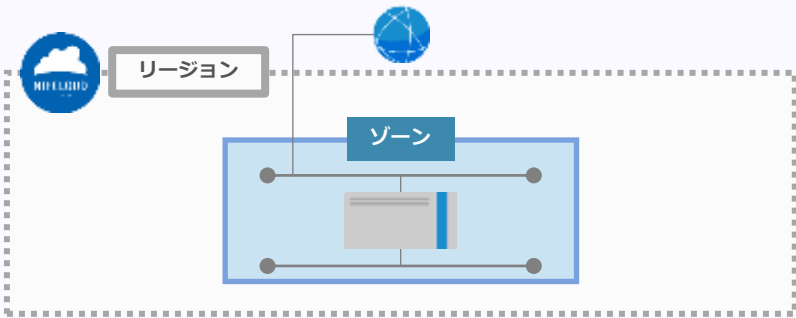
サーバー1台を作成するだけでSLA99.99%が適用

SLAを適用させるための複数ゾーン構成が不要なため、少ない学習コストでクラウドを導入可能。

ニフクラは単一ゾーンでもSLA適用

単一ゾーンの構成でSLA99.99%適用

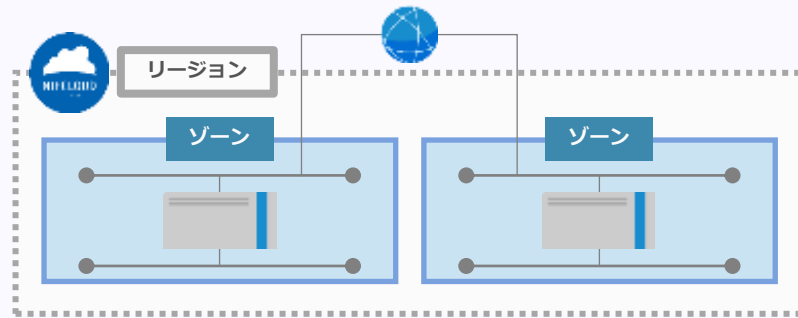
[ニフクラ 品質保証制度 \(SLA\) についてはこちら \(https://pfs.nifcloud.com/sla/\)](https://pfs.nifcloud.com/sla/)



複数リージョン・ゾーンで可用性を高めた構成に

システム要件に応じ、複数リージョン・ゾーン構成が可能

[ニフクラの可用性向上への取り組みについてはこちら \(https://pfs.nifcloud.com/security/availability.htm\)](https://pfs.nifcloud.com/security/availability.htm)



初めてクラウドを導入する方でも安心してご利用いただけます



IS 677023 / ISO 27001



CLOUD 689206 / ISO 27017

ISMS認証の取得

「ISO/IEC 27001:2013,JIS Q 27001:2014」

「ISO/IEC27017に基づくISMSクラウドセキュリティ認証」

FISC安全対策基準への適合性を明示

ニフクラでは、公益財団法人「金融情報システムセンター（FISC）」の「金融機関等コンピュータシステムの安全対策基準・解説書（通称：FISC安全対策基準）」に沿って、クラウドサービス事業者として実施している安全対策と、お客様自身で必要な対応をまとめたチェックリストを公開しています。

ISMAPへの登録

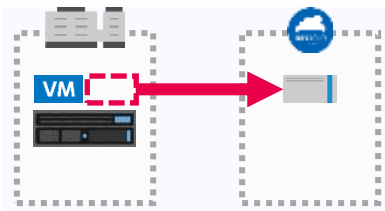
ニフクラは、日本政府が求めるセキュリティ要求を満たしたクラウドサービスをあらかじめ評価・登録する制度である「ISMAP（政府情報システムのためのセキュリティ評価制度）」のクラウドサービスリストに登録されています。

基幹システム、金融機関、官公庁などの情報システムに対応可能な エンタープライズ向けクラウドです

VMware vSphereユーザーに最適な4つの理由 FUJITSU

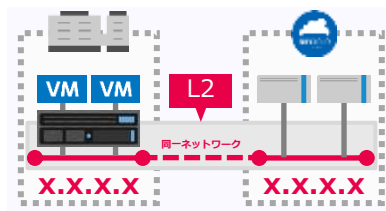
ニフクラは、オンプレミスのVMware vSphere環境の移行先に最適なクラウドです。

1. オンプレミスからそのまま移行



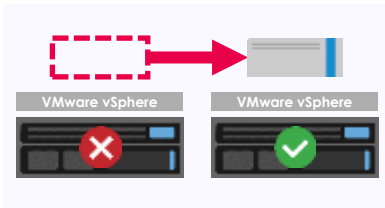
- 基盤が同じなので、オンプレミスのVMware vSphereからの移行が安心
- 1VMから移行可能。移行機能を利用すれば、OSやシステム構成はそのまま

2. ハイブリッドクラウドを簡単構築



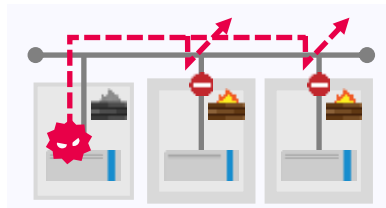
- L2延伸でオンプレミス環境とニフクラを接続
- IPアドレスが変わらないため、既存システムの設定変更が不要

3. 高可用性の基盤で安心



- ハードウェア故障時に自動フェールオーバーし、迅速に再起動（HA機能）
- ハードウェア故障の予兆検知やリソース最適化を独自実装

4. ゼロトラストネットワークを実現



- マイクロセグメント単位で設定できるファイアウォールを標準機能で無料提供
- 万が一、マルウェアに感染しても該当サーバーからの異常通信をブロックし、被害を最小限に

9,000件以上の導入実績（2022年3月末時点）

FUJITSU

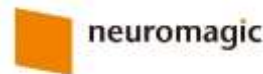
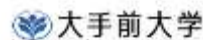
SQUARE ENIX



KOKUYO



ShinDengen



S-cubism



REGAIN GROUP



多くのお客様にご支持いただいています

ニフクラが考える、クラウド利用 5つのステップ

段階的なクラウド利用をニフクラは推奨しています。

Step1

オンプレミス 環境の仮想化



物理サーバーとシステムを切り離し、ハードウェアとシステムのライフサイクルを分離

Step2

クラウドの 体験・評価



オンプレミス環境の一部をクラウドに移行し、クラウドを評価・技術者を育成

Step3

クラウドの 利用拡大



運用経験を踏まえて移行方針を検討。クラウドへのリフトを推進し、運用負荷を軽減

Step4

ビジネススピードに 対応するクラウド



システムの全体像を見える化し、API活用による自動化など、運用効率化を検討

Step5

クラウド利用の 最適化



マルチクラウドや一部システムのオンプレミス回帰により、ビジネスメリットを最大化



現在の御社

既存インフラの設計そのままクラウドへリフト

クラウドネイティブなインフラへシフト

お客様のゴールに合わせた機能・サービスを提供いたします

Step1 オンプレミス環境の仮想化

Step1

Step2

Step3

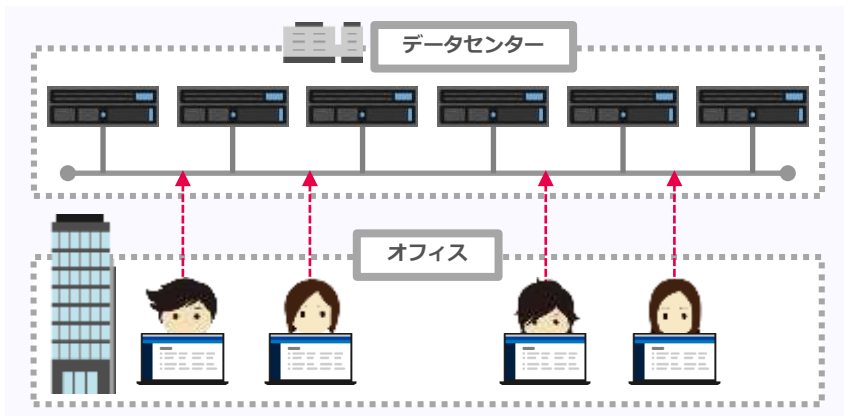
Step4

Step5

はじめにオンプレミス環境のサーバーの仮想化を行います。

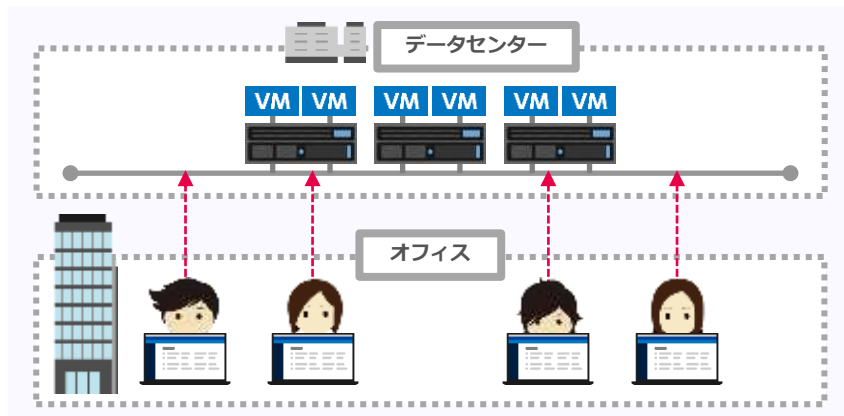
物理サーバーをそのまま利用

ハードウェアとシステムのライフサイクルが同一の状態



オンプレミス環境を仮想化

自社データセンター内でサーバーを仮想化する



ハードウェアとシステムのライフサイクルを分離し、
クラウド移行をしやすい環境に

Step2 クラウドの体験・評価

Step1

Step2

Step3

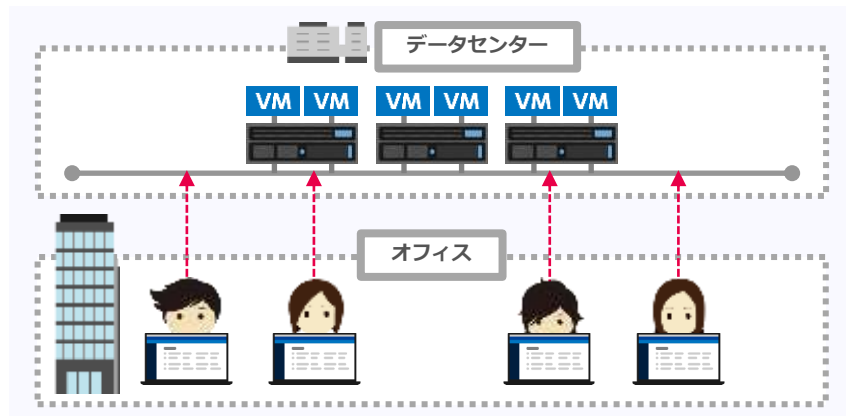
Step4

Step5

影響が少ない仮想サーバー（VM）をクラウドに移行し、クラウドを体験します。

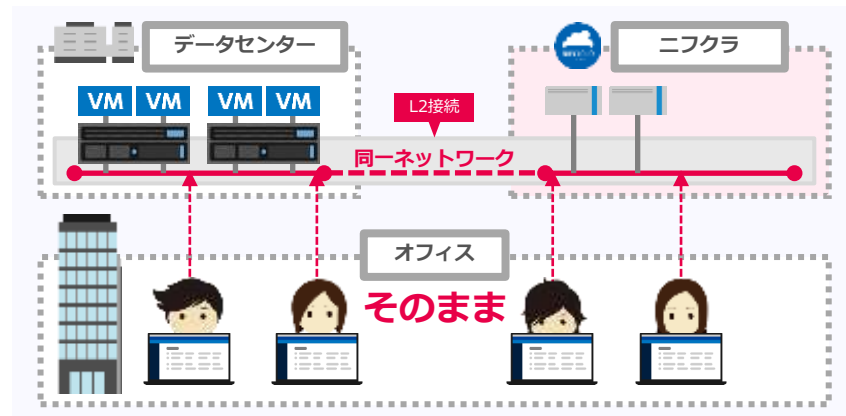
オンプレミス環境を仮想化

自社データセンター内でサーバーを仮想化した

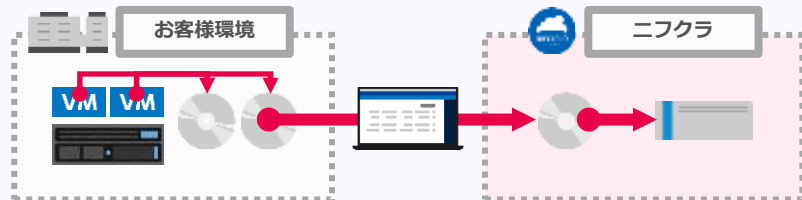


ハイブリッドクラウドを構築

一部のVMをニフクラに移行。利用者環境はそのまま



トライアルでクラウドを利用し、クラウドの評価や技術者育成を実施

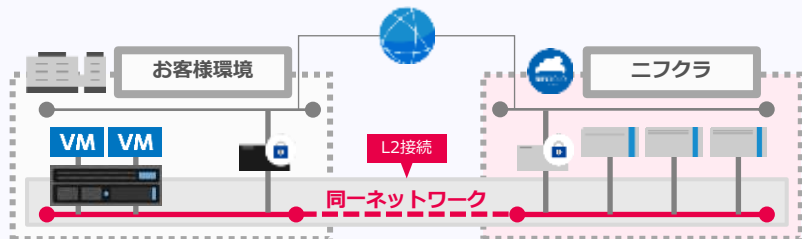


VMインポート

OSやシステム構成をそのままニフクラにサーバー作成

オンプレミス環境の仮想サーバーのOVFファイルをエクスポート、ニフクラにインポートしてサーバーを作成すれば移行完了。

1台から利用可能なので、オンプレミス環境の仮想サーバー（VM）を使ってクラウドの評価・体験ができます。



拠点間VPNゲートウェイ

IPアドレスそのままオンプレミス環境とニフクラをセキュアに接続

オンプレミス環境のルーターの設定変更だけで、L2延伸で簡単にニフクラと接続できるインターネットVPNです。

既存システムの設定変更が不要になるため、ユーザーは、サービスがどの環境にあるかを意識せずに利用可能です。

Step3 クラウドの利用拡大

Step1

Step2

Step3

Step4

Step5

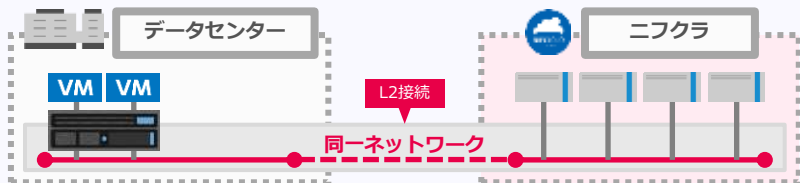
クラウドを体験し、運用ノウハウが蓄積したら、本格的に業務システムの移行を行います。

パブリッククラウドへの移行で問題ない場合

将来的な全面移行を目指して、移行作業を引き続き実施

大規模化の予定・セキュリティ要件などがある場合

プライベートなクラウド環境の導入を検討する



運用経験を踏まえて移行方針を策定し、クラウドへのリフトを推進



プライベートリージョン

お客様所有のデータセンター内にニフクラ環境を構築・提供

特定のシステムをハウジングのようなプライベートな環境下に置きながら、パブリッククラウドのように運用できます。

- ハイパーバイザーより下層のレイヤーの管理はニフクラが実施
- リソースはニフクラのコントロールパネルから管理
- ほかのニフクラ環境とあわせた一元管理が可能
- 同一データセンター内にあるオンプレミス環境と簡単に構内接続



プライベートリソース

ニフクラのサーバー部分を専有環境で利用可能

ほかの利用者と物理的に隔離された環境にお客様専用のサーバーを構築し、提供します。

Step4 ビジネススピードに対応するクラウド

Step1

Step2

Step3

Step4

Step5

クラウドへのリフトが完了したら、クラウドの機能を活用した運用効率化を検討します。

クラウド移行を実施した環境

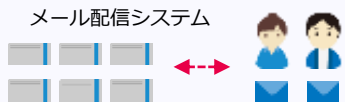
システムの中身は既存のまま

運用



人手

実装



自社実装

システム
全体像

?

ブラック
ボックス

クラウドネイティブに向けた既存システムの見直し

システムの全体像を「見える化」し、運用や実装を見直し

運用



APIで
自動化

実装



PaaSなどの
活用

システム
全体像



見える化

システムを取捨選択し、運用が必要なシステムは効率化を実施

ニフクラ (※)	API	211種
RDB	API	39種
DNS	API	7種
ESS	API	13種
ストレージ	API	29種 (オブジェクトストレージ用)
NAS	API	12種
スクリプト		1種 (API 実行用)
専用エンドポイント	API	11種

ニフクラAPI

サーバーやディスクの作成・起動・停止をプログラムで実行し、人が介在しない運用を実現

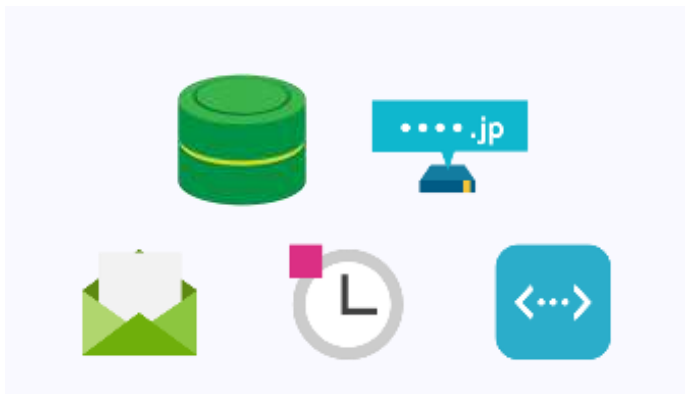
- 300種類以上のAPIで定常的な業務の自動処理を実現
- ほかのツールやクラウドとの連携はAPIを活用
- 作業時間のロスや作業ミスによる手戻りがなく作業の標準化が可能

※ ニフクラAPIでコントロールできるコンポーネント (<https://pfs.nifcloud.com/api/>)

エンジニアリングパーツ (PaaS)

運用負荷を軽減し、アプリケーション開発へのリソース集中が可能

- RDB (データベース)
- DNS / GSLB (広域負荷分散) / ドメイン取得・管理
- ESS (メール配信)
- タイマー
- スクリプト



Step5 クラウド利用の最適化

Step1

Step2

Step3

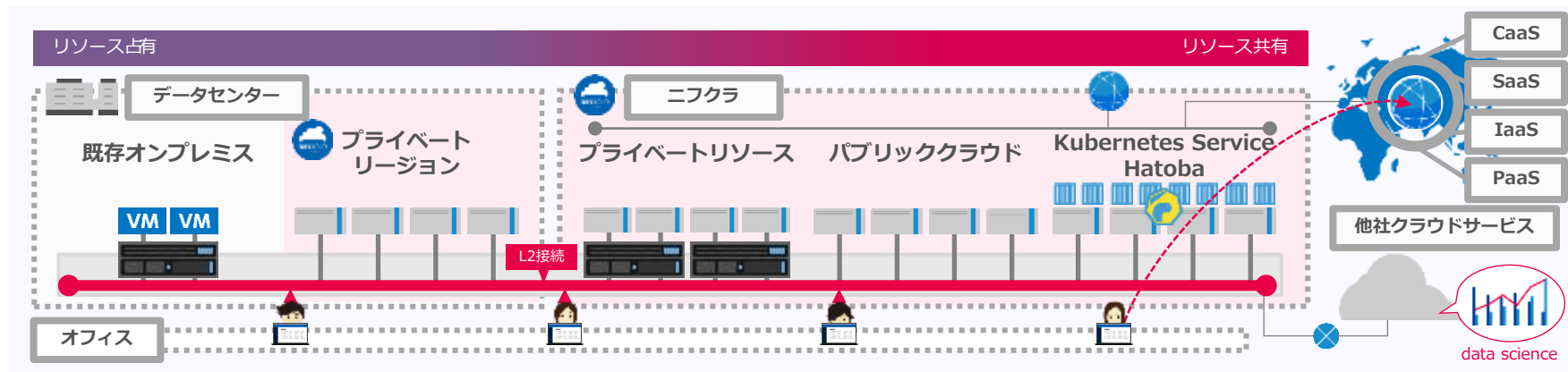
Step4

Step5

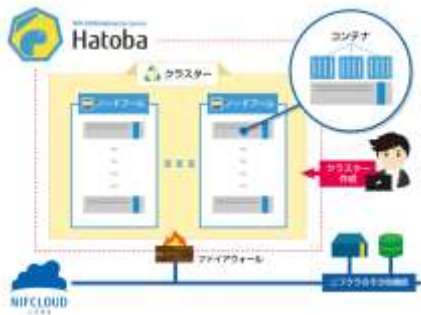
システムを「見える化」した結果に応じて、それぞれのシステム基盤を最適化します。

No Boundaryな環境を実現

マルチクラウドや外部サービスの利用を検討。重要情報はオンプレミス、負荷対策が必要なものはクラウドなど使い分け。



ビジネスメリットの最大化のために最適な基盤を選択し、DXを推進



Kubernetes Service Hatoba

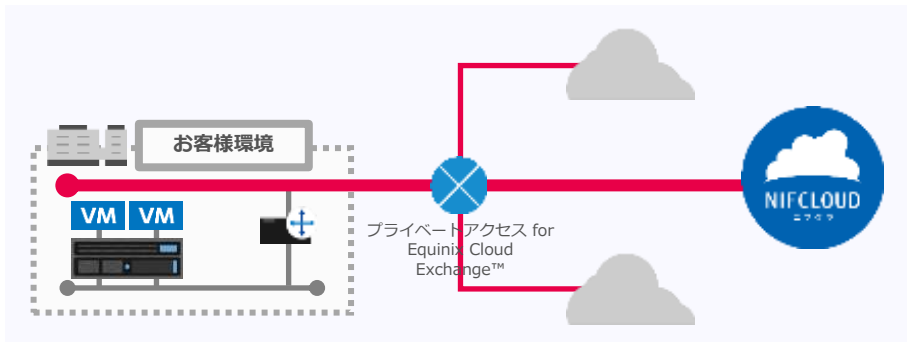
Kubernetesクラスターを簡単に構築・管理

- クラスターは、ニフクラにてマネージメント
- 冗長化されたマスターを持つクラスターを構築可能で、高可用なKubernetesクラスターを運用できる
- ニフクラの機能と連携ができ、ファイアウォール機能によるアクセス制御も利用可能
- Certified Kubernetes認定

プライベートアクセス for Equinix Cloud Exchange™

他社クラウドへの接続をセキュアかつ簡単に実現

- インターネットを経由せずにEquinix Cloud Exchange™網内を経由して、お客様拠点とニフクラとのセキュアかつハイパフォーマンスな通信を実現



導入事例

製造業

ニフクラの利用機能

拠点間VPNゲートウェイ

VMインポート

概要説明

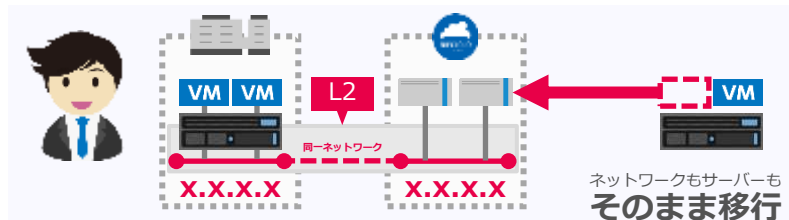
L2延伸とVMインポートでスマートにクラウド移行したDR環境リプレイス案件

お客様の課題

- DR環境のコスト・運用工数の軽減
- 移行時に既存ネットワークやアプリケーションに影響を与えたくない
- 担当者退社&仕様書がなく、再作成不可能なサーバーがある

ニフクラでの解決

- クラウドへのDR環境構築でコスト最適化&運用工数を軽減
- インターネットVPNによるL2延伸でネットワーク構成を再現
- VMインポートで再作成不可能なサーバーをそのまま移行



案件概要

システム概要：DR基盤

案件規模：約15万円/月 ※ニフクラ利用金額

競合：なし

受注ポイント：

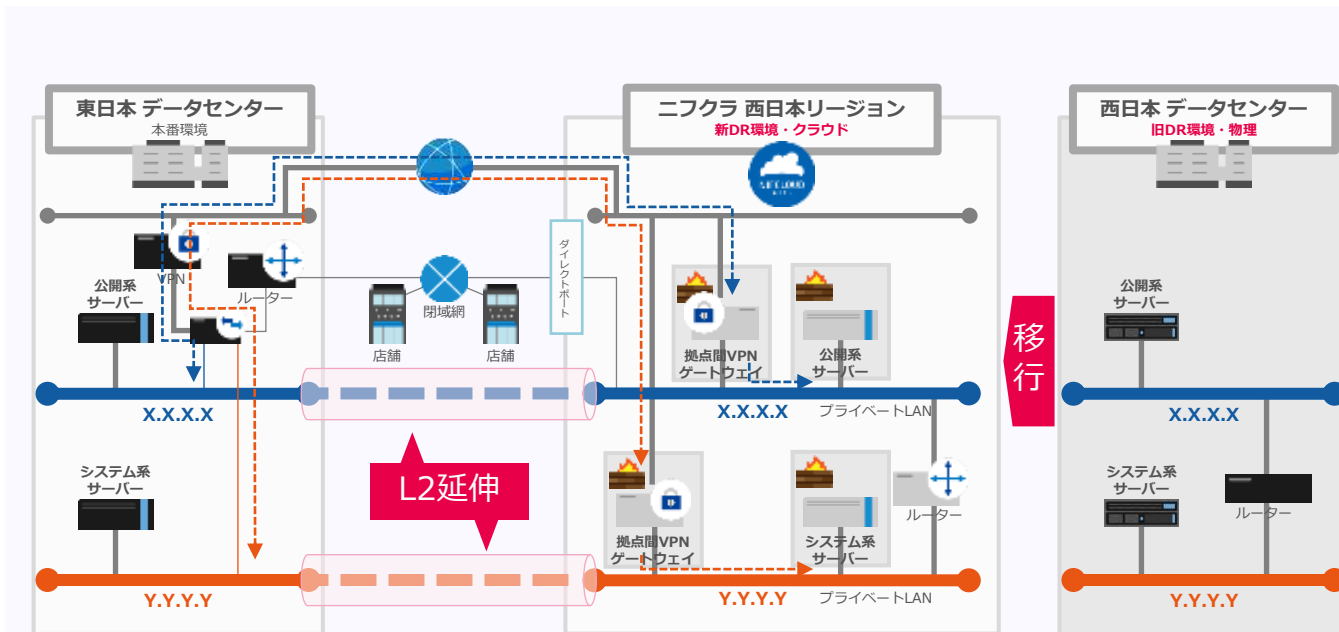
- L2延伸ができたこと
- 新規構築が難しいサーバーを再作成せず移行できたこと
- クラウド移行前と同様のネットワーク構成を再現できたこと

将来性/今後の展開：特になし

L2延伸で、既存のネットワーク構成をクラウドで再現

既存環境への影響を最小限にクラウド移行

構成イメージ



概要

- DR環境を移行
西日本のデータセンター→
ニフクラ西日本リージョン
- 本番環境への変更不可
東日本のデータセンター

ネットワーク

- 拠点間VPNゲートウェイは
L2延伸 (L2TP/IPSec) に
対応しているため、本番環
境とニフクラをインター
ネットVPNで接続するこ
とで移行前のネットワ
ーク構成を再現
- 公開系・基幹系の2セグメ
ントでIPアドレス変更なし

サーバー

- VMインポートでニフクラに
サーバーを作成することで、
再作成不可能サーバーをそ
のまま移行

卸売業・小売業

ニフクラの利用機能

VMインポート

ダイレクトポート

概要説明

大手ECサイト基盤をニフクラとオンプレミスのハイブリッドクラウド移行

お客様の課題

- ・繁忙期に合わせたサーバーサイジングによって閑散期は過剰投資に
- ・物理保守が大きな負担となっていた
- ・クラウドに移行してもサイトレスポンスは絶対落とせない

ニフクラでの解決

- ・アクセス状況に応じたリソース増減で過剰投資を解消
- ・WEBサーバーをクラウド化することで保守の負担を軽減
- ・DBサーバーはオンプレミスで構築し、同一データセンター内で構内接続することで、サイトレスポンスを維持

案件概要

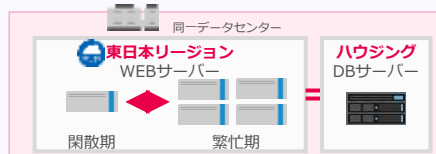
システム概要：ECサイト基盤

案件規模：約750万円/月 ※ニフクラ利用金額

競合：NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloud

受注ポイント：

- ・同一データセンター内のオンプレミス環境と構内接続ができた点
- ・VMインポートで新規構築が難しいサーバーをそのまま移行可能だった点

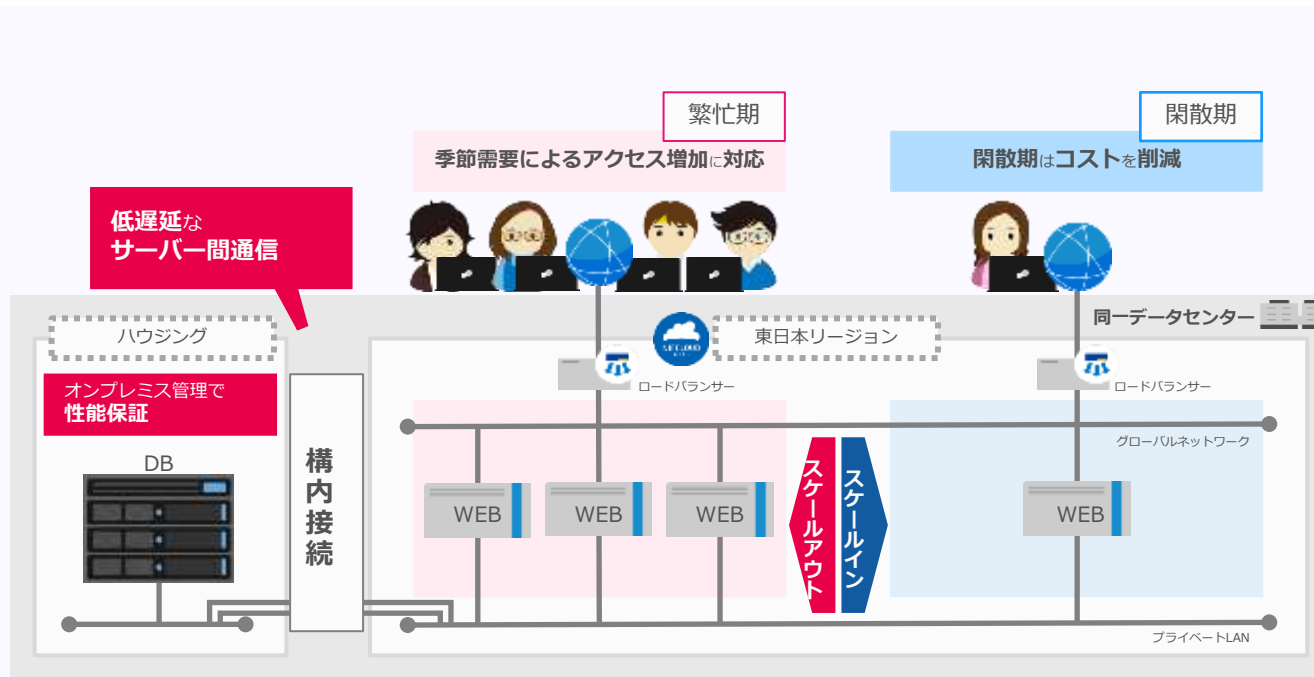
性能保証できる
オンプレミスでも、
過剰投資
になる過剰投資を抑制できる
クラウドでも、
性能保証
ができない

オンプレミスとクラウドの“いいとこ取り”

コスト削減と性能保証を両立させ、高いサイトレスポンスを維持

DBのみオンプレミスのまま、Web/APをクラウド化

構成イメージ



概要

- WEBサーバーをニフクラ東日本リージョンに移行
- DBサーバーをニフクラ東日本リージョンと同一データセンター内のハウジング環境に移行

WEBサーバーをクラウド化

- リソース増減したいWEBサーバーをクラウド、性能保証したいDBサーバーをオンプレミスで運用するハイブリッドクラウドを採用
- ニフクラとオンプレミスはセキュアにL2構内接続

サーバー移行

VMインポートでのサーバー作成により、オンプレミスの既存OSをそのまま利用でき、アプリケーション改修が不要に

製造業 ニフクラの利用機能 VMインポート ダイレクトポート 自動フェイルオーバー（HA機能） 概要説明

自社内の基幹システム基盤をデータセンターへ移行し、クラウドに開発環境とDR環境を構築

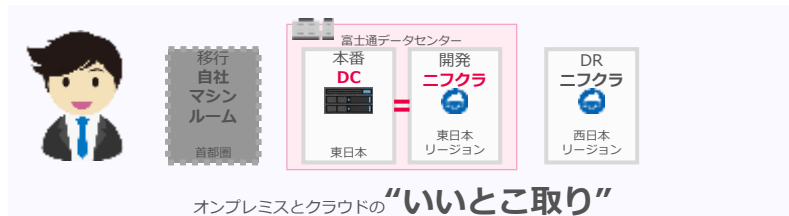
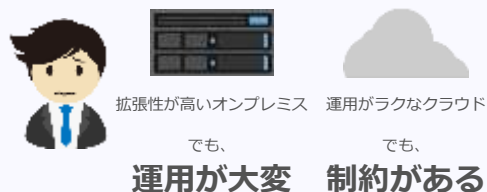
お客様の課題

- ・ オンプレミスの運用負荷が大きい
- ・ クラウドでは満たせない要件がある
 - ・ 特定のVM群で障害時は同時にフェイルオーバーさせる必要があった

ニフクラでの解決

本番＝オンプレミス、開発・DR＝ニフクラ
を同一データセンター内でプライベート接続

- ・ 要件を満たしつつ物理運用負荷を軽減
- ・ 迅速なサーバー払い出しで事業部門のビジネスを加速



案件概要

システム概要：基幹システム基盤

案件規模：約200万円/月 ※ニフクラ利用金額

競合：NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloud

受注ポイント：

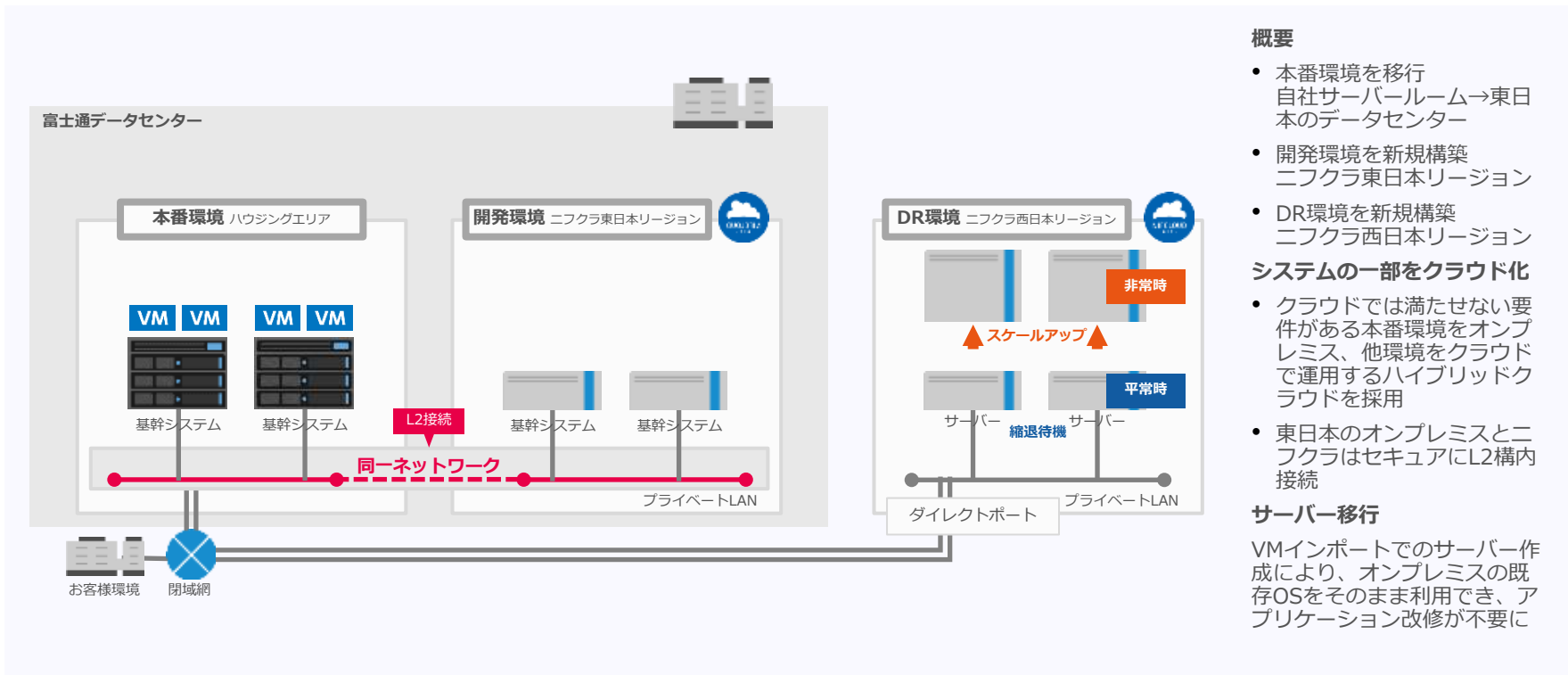
- ・ ディスク、ストレージ性能が高性能なこと
- ・ テスト利用で、コントロールパネルのGUIが高評価を受けたこと
- ・ VMインポートでオンプレミス環境のWindows 2008が引き続き利用可能となり、アプリケーションの改修が不要になったこと

将来性/今後の展開：本番環境のクラウド化も検討中

オンプレミスとクラウドの“いいとこ取り”を実現

基幹システムの段階的クラウド化

構成イメージ



DC移行&DR環境構築によるBCP実現

製造業

ニフクラの利用機能

オブジェクトストレージ

ISOイメージ

概要説明

首都圏の自社内にて運用の基幹システム基盤を、サーバー老朽化更新時にデータセンター移行すると共にDR環境をクラウドに構築

お客様の課題

- 老朽化した自社マシンルームに基幹システムがあり、事業継続性に不安
- コストをあまりかけずにDR環境を構築したい

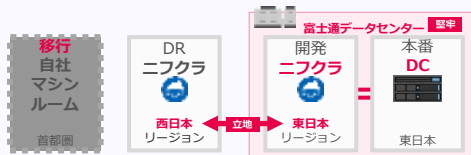
ニフクラでの解決

データセンターとニフクラ東西リージョンにリスク分散

- 災害対策に優れた堅牢なデータセンターへ本番環境を移行
- ニフクラ東西リージョンへ開発環境・DR環境を分けて構築
- 通常時はサーバーを縮退待機させDR環境を低コストで運用



すべてのサーバーが自社マシンルームにあり
事業継続性に不安



データセンター、クラウド、東西、に環境を分散し
事業継続性を向上

案件概要

システム概要：基幹システム基盤

案件規模：約200万円/月 ※ニフクラ利用金額

競合：NTTコミュニケーションズ Enterprise Cloud

受注ポイント：

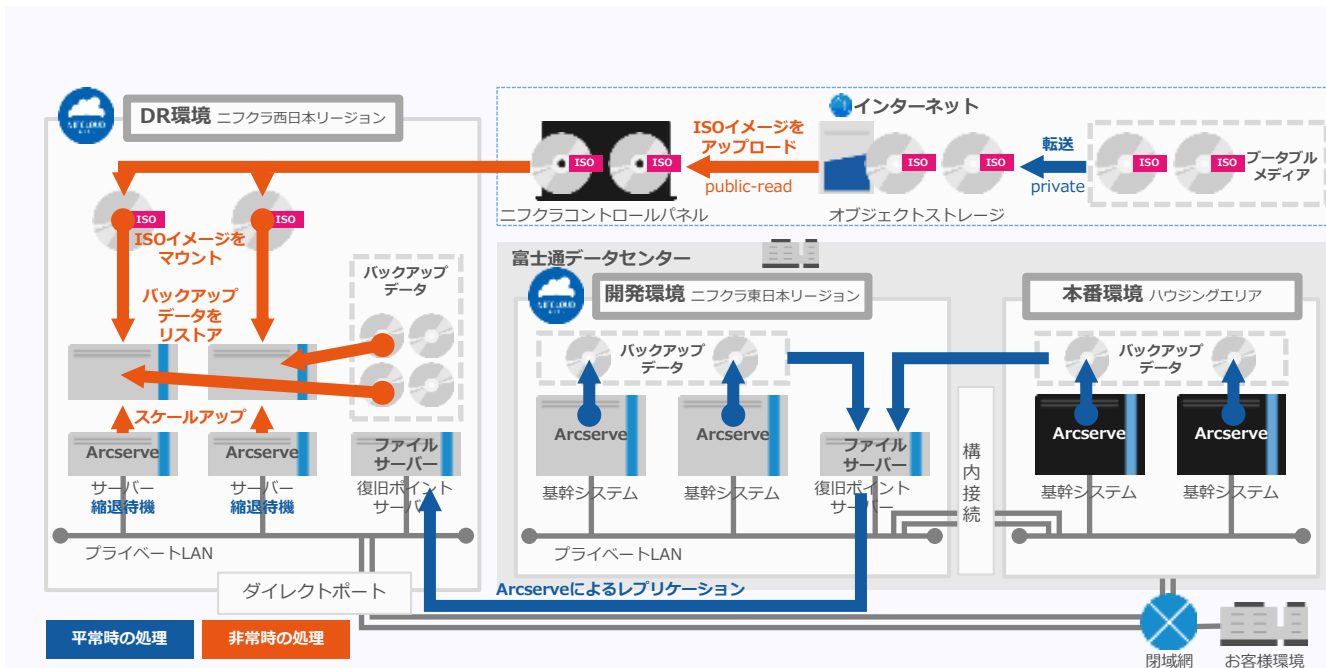
- ディスク、ストレージ性能が高性能なこと
- テスト利用で、コントロールパネルのGUIが高評価を受けたこと
- VMインポートでオンプレミス環境のWindows 2008が引き続き利用可能となり、アプリケーションの改修が不要になったこと

将来性/今後の展開：本番環境のクラウド化も検討中

RTOを満たすBCP対策を低コストで実現

DC移行 & DR環境構築によるBCP実現

構成イメージ



概要

- RTO : 48時間、RPO : 24時間
- 本番環境 : 東日本のデータセンター
- 開発環境 : ニフクラ東日本リージョン
- DR環境 : ニフクラ西日本リージョン
- バックアップソフト : Arcserve

平常時の処理

- バックアップソフトのブータブルメディア (ISOイメージ) を、オブジェクトストレージに転送
- 本番環境および開発環境のイメージバックアップをバックアップソフトで取得し開発環境のファイルサーバー内に格納後、ファイルサーバーをDR環境にレプリケーション

非常時の処理

- オブジェクトストレージのブータブルメディアを、ニフクラの「ISOイメージ」機能を用いてニフクラのコントロールパネルからアップロード
- アップロードしたISOイメージを、DR環境にて縮退待機させているサーバーにマウントし、スケールアップやストレージ増設などを実施
- サーバーを起動後、開発環境からレプリケーションしておいたバックアップデータをリストア
- インターネット回線があれば実施可能

終了予定サービスの最適コストでの延命

製造業

ニフクラの利用機能

VMインポート

ダイレクトポート

概要説明

オンプレミス環境老朽化のため、低コストでの運用を目指しクラウド移行

お客様の課題

- ・ オンプレミスだと5年間の利用が前提
- ・ OS以上には手を加えたくない
(Windows Server 2000、2003)
- ・ オンプレミスに残す資産もあり、ハイブリッド構成の想定も必要



アプリ改修
無理



5年も
使わない

もうすぐ終わるサービスに

人手もお金もかけられない

ニフクラでの解決

- ・ 月額利用が可能なニフクラでリプレイス
- ・ VMインポートを用いてOS以上をそのまま持ち込みアプリ改修を抑止
- ・ オンプレミスをニフクラと同一データセンター内へ持ち込み、従来通りのネットワーク構成を維持



ニフクラなら

そのまま移行・不要になれば解約できる



案件概要

システム概要：情報配信系サービス基盤

案件規模：約6,000万円/月 ※ニフクラ
利用金額

競合：FUJITSU Cloud Service K5、
Microsoft Azure

受注ポイント

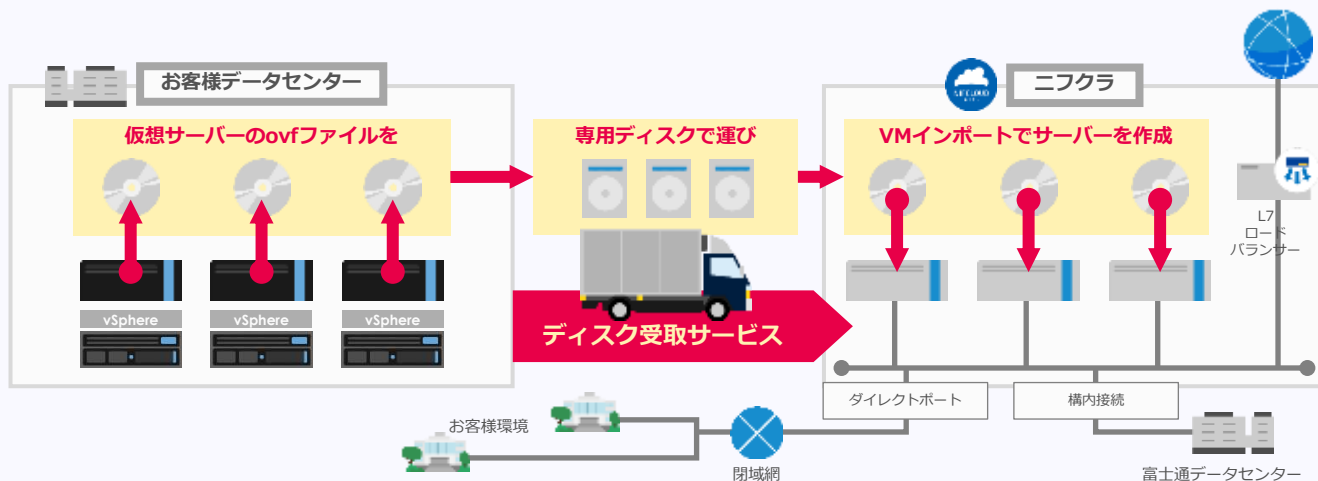
- ・ 競合他社では動作しないOSが動作可能なこと
- ・ 「FUJITSU Cloud Service U5
(現：FUJITSU Cloud Service for SPARC)」 「富士通データセンターのハウジング環境」 「ニフクラ」を富士通データセンター内で構内接続できたこと
- ・ オンプレミスのネットワーク構成を再現できたこと

将来性/今後の展開：クライアント数の増加に伴い、システムを引き続き増強予定

ハードウェア更新サイクルからの脱却・最低限の工数でのクラウド移行を実現

終了予定サービスの最適コストでの延命

構成イメージ



概要

- 環境を移行
お客様のデータセンター→
ニフクラ・富士通データセ
ンター・FUJITSU Cloud
Service for SPARC

サーバー

- VMインポートでニフクラに
サーバーを作成することで、
再作成不可能サーバーをそ
のまま移行

- 大量のVMを物理的に移行

ネットワーク

- ニフクラと富士通データセ
ンターはセキュアにL2構内
接続

卸売業・小売業・流通業

ニフクラの利用機能

プライベートLAN

追加NIC

Acronis Cyber Protect Cloud

概要説明

最重要商品を司る、保守期限切れが迫ったオンプレミス環境からのクラウド化

お客様の課題

- 物理基盤のリプレースが負担
- 基幹システムのため、高可用性が求められるが、クラウドの構築経験がない
- 保守期限切れが間近で時間がない

ニフクラでの解決

- クラウド化でリプレースから解放
- ニフクラならサーバー1台から、
 - 自動フェイルオーバー（HA機能）を標準実装
 - SLA99.99%適用
- 他社クラウドに比べて、学習や検証時間を短縮



案件概要

システム概要：基幹システム

案件規模：約130万円/月

競合：FUJITSU Cloud Service K5

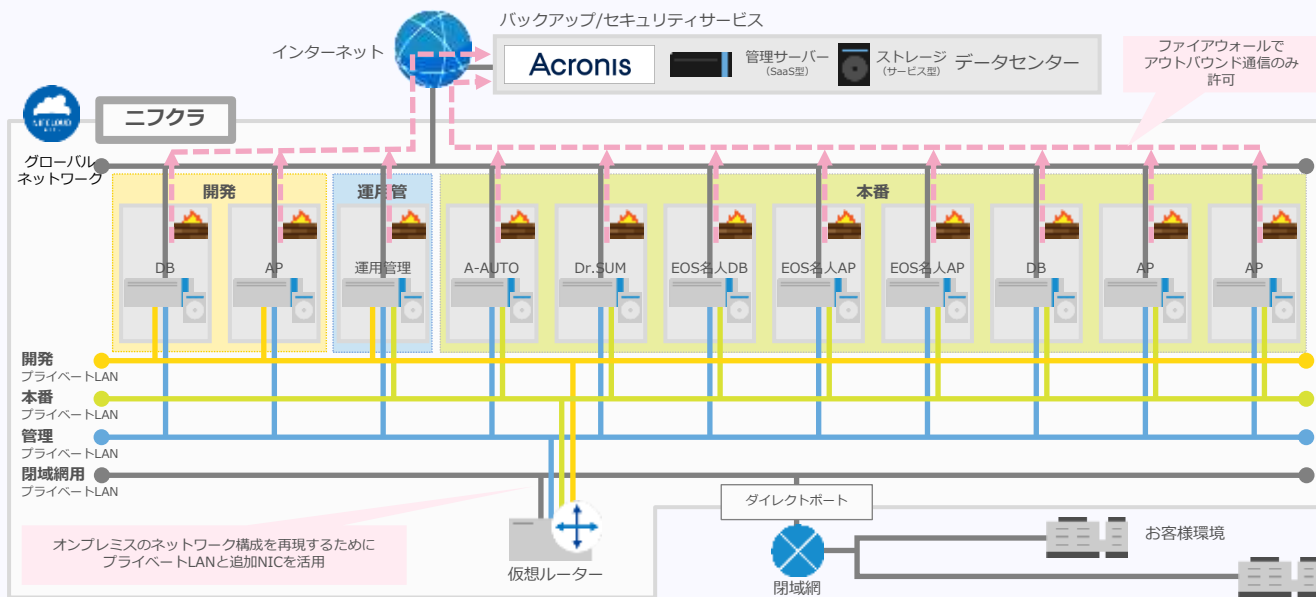
受注ポイント

- 他社パブリッククラウドと異なり冗長化方式の学習や複数ゾーンなどの動作検証不要でサーバー1台からSLA適用が可能なこと
- 自動フェイルオーバー（HA機能）の標準実装により、サーバー1台で可用性要件が満たされたこと
- ベンチマークの結果、ストレージ性能が高かったこと
- 複数NICとプライベートLANの活用によりオンプレミスのネットワーク構成をそのまま再現できること

将来性/今後の展開：グループ企業でも基幹システムのクラウド化を横展開

クラウドが初めてのSEでも、短納期での基幹システムのクラウド化に成功

構成イメージ



概要

- 基幹システムをニフクラに構築

ネットワーク

- 複数NICとプライベートLANの活用により既存オンプレミス環境のネットワーク構成をそのまま再現

DR対策

- インターネット回線経由でバックアップデータを置くことが許容されたためAcronisを採用し、DR環境の保守工数を削減
- Acronisとの通信はグローバル経由で、ニフクラのファイアウォール機能利用でサーバーからAcronisへのアウトバウンド通信のみを許可

製造業

ニフクラの利用機能

自動フェイルオーバー（HA機能）

概要説明

オンプレミス残留していたDBサーバーも含め、コンシューマー向けサービス基盤をクラウド化

お客様の課題

- サービスを24時間365日止められない
- 単一障害点となる特殊なDBサーバーをクラウド化できていない
- DBサーバーのコストが最適化できていない

ニフクラでの解決

- HA機能でハードウェアの可用性が向上
- DBサーバーへの自動リカバリー製品導入で障害時の対応時間を短縮
- 柔軟なスケールアップ/ダウンでコストを最適化

案件概要

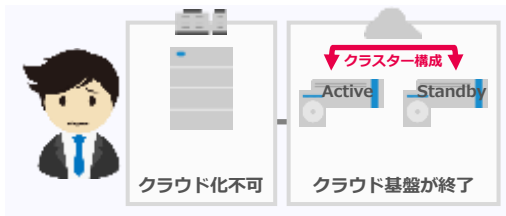
システム概要：コンシューマー向けサービス基盤

案件規模：約300万円/月 ※ニフクラ利用金額

競合：なし

受注ポイント：

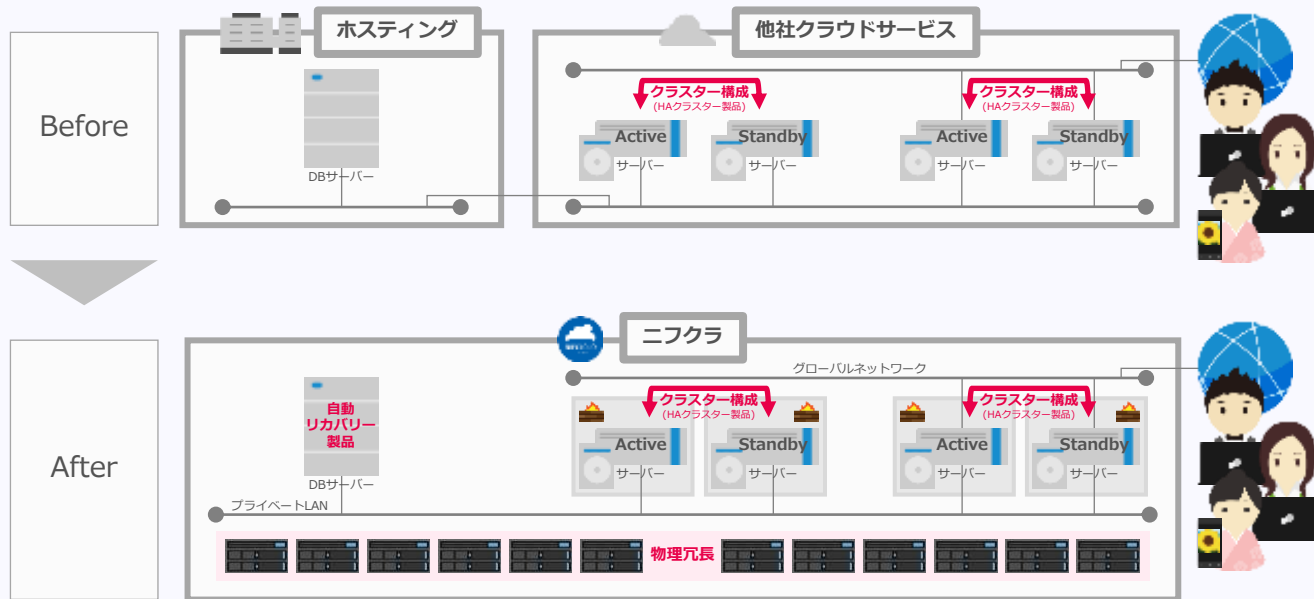
- HA機能でハードウェアの可用性を向上できたこと
- ニフクラの導入実績が評価されたこと



クラウドへの全面移行と可用性向上で、運用コスト約20%削減

ニフクラと自動リカバリー製品で可用性向上とコストダウンを実現

構成イメージ



概要

- ホスティングにあったDBサーバーおよび他社クラウドサービス上のサーバーをニフクラに移行

DBサーバーをクラウド化

- ホスティングにあったDBサーバーをニフクラに移行と同時に自動リカバリー製品を導入

他社クラウドからニフクラへ移行

- VMware vSphere仮想基盤の他社クラウドサービス上のサーバー（HAクラスター製品利用）をニフクラに移行

情報・通信業

ニフクラの利用機能

プライベートリージョン

概要説明

自社ブランドで展開中のクラウドサービスの基盤をニフクラのプライベートリージョンに移行

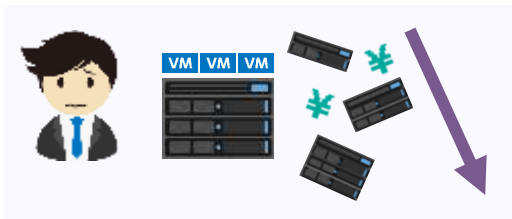
お客様の課題

- 運用保守が負担
- エンドユーザーの利用状況把握が困難
 - リソースや利用料金の管理
- 商品力の低下によりDC収容率が悪化

ニフクラでの解決

ニフクラを自社ブランドでOEM販売

- 運用保守から解放
- 専用コントロールパネルで利用状況を簡単に把握
- 商品力強化、構内接続でハイブリッドクラウド提案も可能に



案件概要

システム概要：クラウドサービス基盤

案件規模：約700万円/月 ※ニフクラ利用金額

競合：特になし

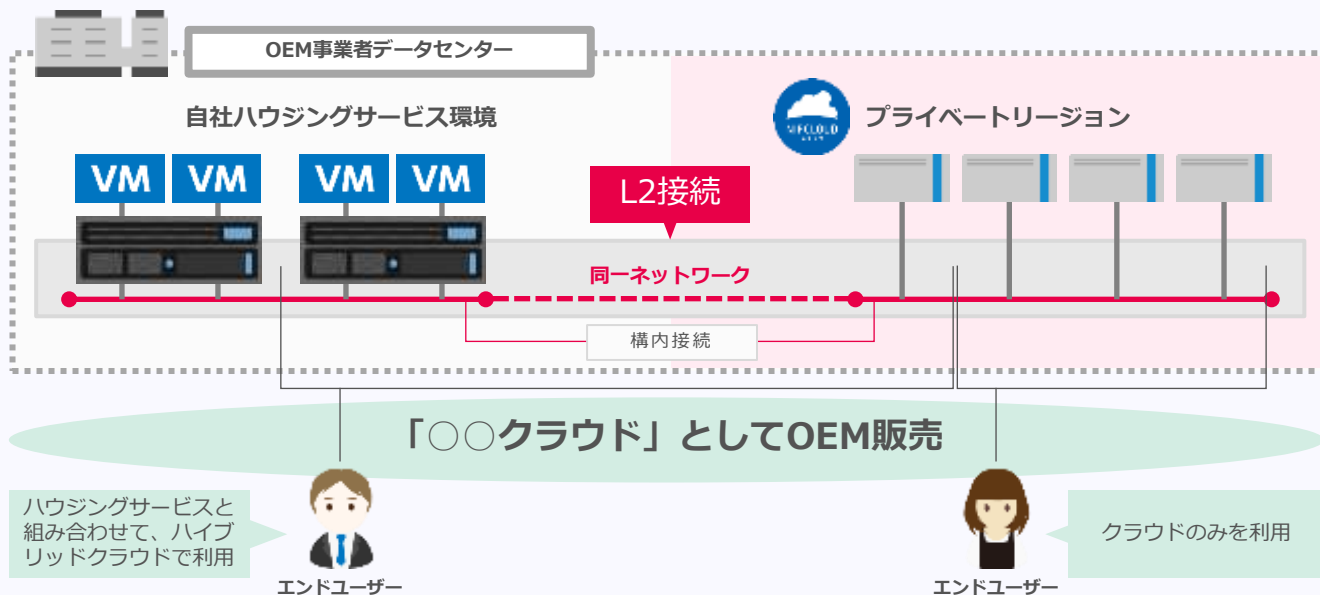
受注ポイント：

- プライベートリージョンをOEMでエンドユーザーに販売可能なこと
- 自社ハウジングサービスとプライベートリージョン間で構内接続が可能なこと
- 専用のコントロールパネルが提供されたこと
- 24/365のサポート窓口が利用可能なこと

将来性/今後の展開：特になし

クラウドサービスの競争力強化をプライベートリージョン移行で実現

構成イメージ



概要

- ニフクラプライベートリージョンをOEM事業者データセンター内に構築

自社ハウジングサービス環境

- ハウジングサービスとしてエンドユーザーに提供

プライベートリージョン

- クラウドサービスとしてエンドユーザーに提供
- ハードウェアの故障時検知・復旧、仮想化基盤やコントロールパネルの運用はニフクラが管理

ハイブリッドクラウド

- 構内接続によるL2延伸で自社ハウジングサービス環境とプライベートリージョンを同一ネットワークとして利用可能

50名規模のテレワーク環境をスピーディーに構築

公益法人

ニフクラの利用機能

リモートアクセスVPNゲートウェイ

概要説明

SSL-VPNを活用し、自宅からセキュアに既存ニフクラ環境・オンプレミスに接続

お客様の課題

- 従業員の在宅勤務環境を早急かつ低コストで構築したい
- ITリテラシーが低い

ニフクラでの解決

提案から3週間で在宅勤務環境を構築し、利用開始

- 9,800円/月（税抜）の追加コストで導入
- コントロールパネルを設定し、PCに専用アプリケーションをインストールすれば利用可能

案件概要

システム概要：業務システム・社内システム基盤

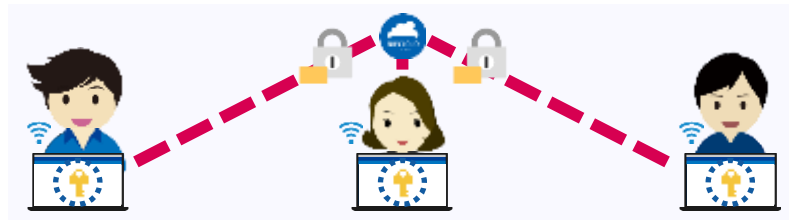
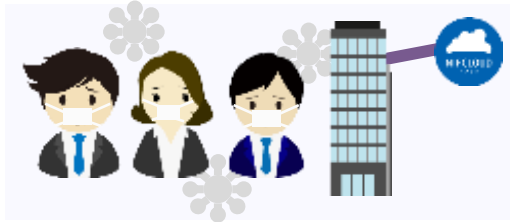
案件規模：約25万円/月 ※ニフクラ利用金額

競合：あり

受注ポイント：

- SSL-VPNを短期間で構築できたこと
- 低コストなSSL-VPNサービスがあること
- 既存ニフクラ環境を活用できたこと

将来性/今後の展開：特になし

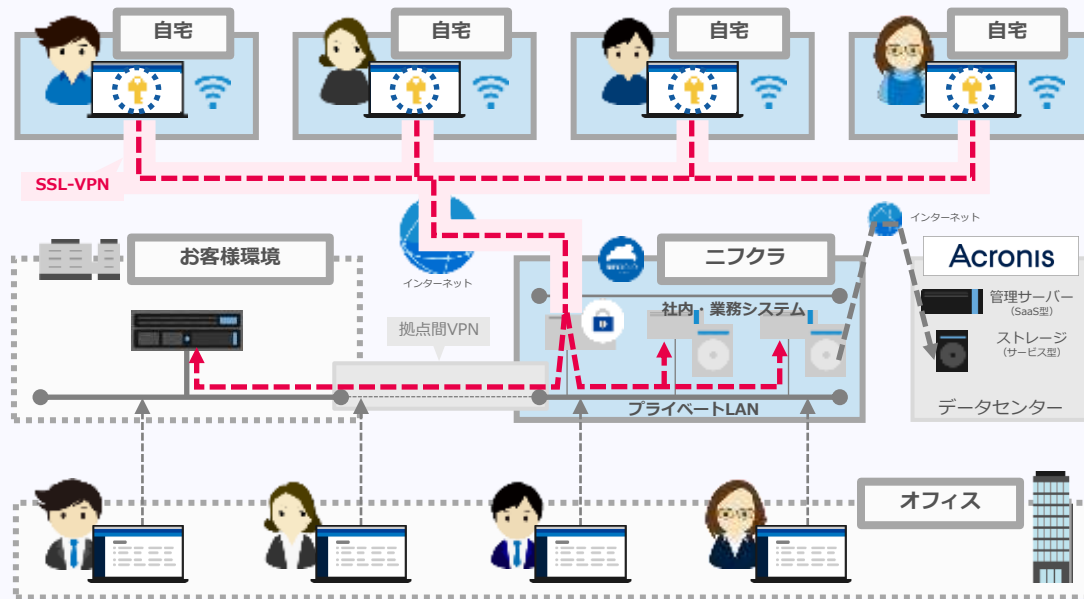


在宅勤務環境をニフクラで早く・安く・セキュアに実現

50名規模のテレワーク環境をスピーディーに構築

構成イメージ

在宅勤務時



システム

- ・ ニフクラ：業務システム、ファイルサーバー、ADサーバーなど
- ・ オンプレミス：上記の一部
- ・ 両者を拠点間VPNゲートウェイ（インターネットVPN）で接続

在宅勤務時

- ・ 従業員の自宅から、専用クライアントソフトウェアをインストールしたPCでニフクラのプライベートLANにアクセスし、業務を実施
- ・ SSL-VPNでセキュアに通信

オフィス出社時

- ・ 社内からニフクラのプライベートLANにアクセスし、業務を実施

マルチテナントのSaaS基盤をニフクラへ移行するとともにDRを実現

お客様の課題

- 物理基盤のリプレースが迫っている
- DRを実施したい
- サービス開始当初の想定スペックに対して不足が発生

ニフクラでの解決

- クラウド移行時に東西リージョンに環境を分割し、DRを実現
- クラウド化でリプレースから解放、EOS対策も実施
- リージョン間のプライベートL2延伸をオンデマンドで実現
- 後から変更できるため構築前の精緻なスペック見積もり回避

案件概要

システム概要：SaaS基盤

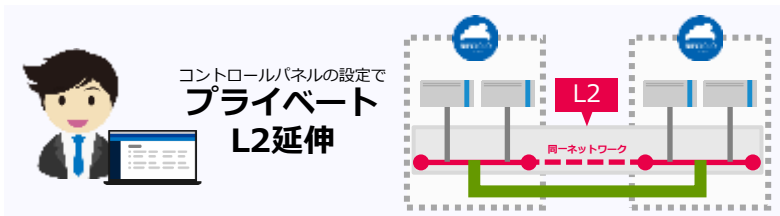
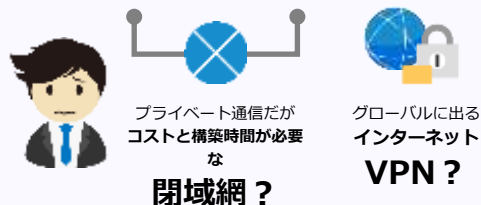
案件規模：約100万円/月 ※ニフクラ利用金額

競合：Microsoft Azure

受注ポイント：

- 既存案件でのニフクラ採用実績が多く、ナレッジがあり安心なこと

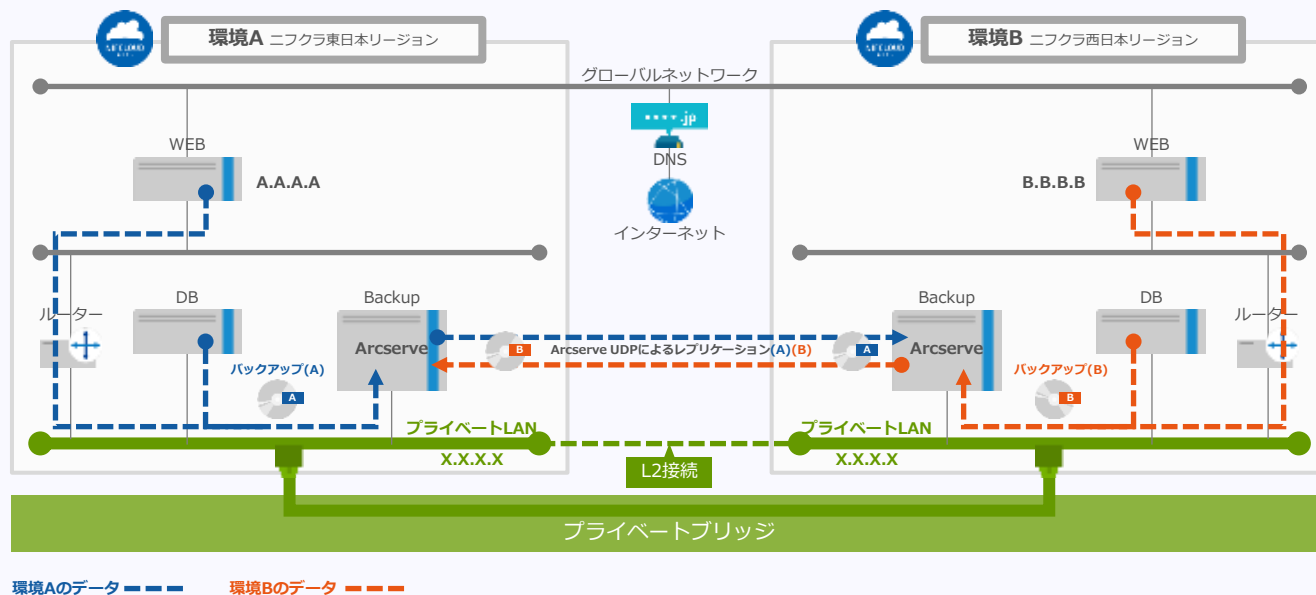
将来性/今後の展開：特になし



プライベートL2延伸により、リージョン間で容易にレプリケーション

SaaS基盤のクラウド化およびDRの実現

構成イメージ



概要

- 本番環境：ニフクラ東日本リージョンおよびニフクラ西日本リージョン
- バックアップソフト：Arcserve

ネットワーク

- 東西リージョンのプライベートLANをプライベートブリッジで接続することで、リージョン間をL2延伸

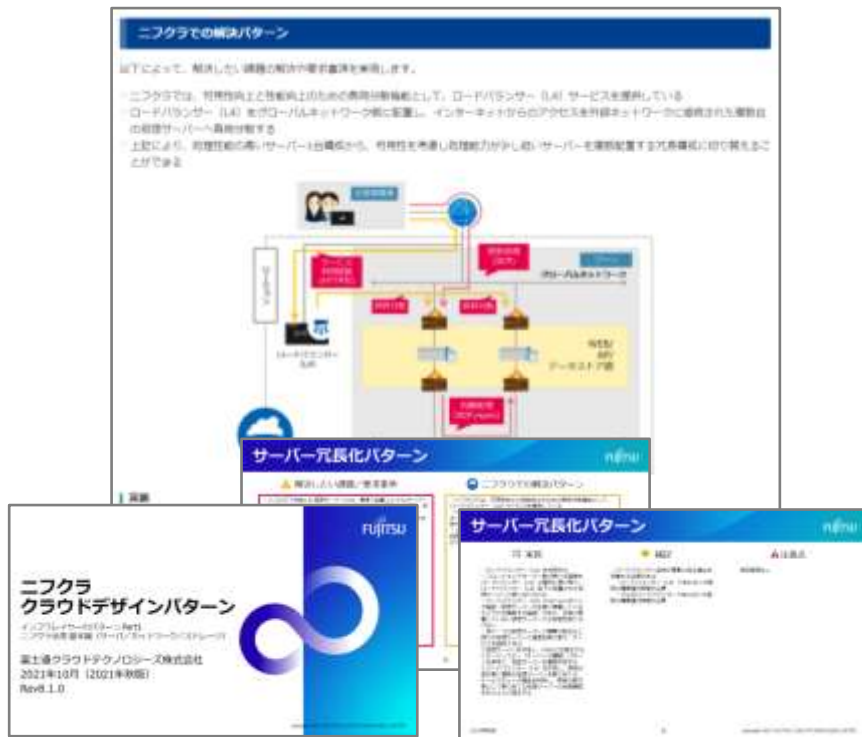
平常時の処理

- ユーザーの半数を東日本リージョン、残り半数を西日本リージョンに割り振り
- バックアップソフト (Arcserve) を利用して、東日本 (西日本) リージョンでそれぞれサーバーのバックアップを取得し、自リージョン内のバックアップサーバーに格納
- 東西リージョンのバックアップサーバー間をレプリケーションして同期

非常時の処理

- サーバーやゾーンレベルの障害の場合：同一リージョン内に新規サーバーを構築し、バックアップからデータを復旧
- リージョンレベルの災害などの場合：正常稼働中のリージョンに新規サーバーを構築、バックアップからデータを復旧させ、有事が発生したリージョンのユーザーのアクセス先を正常リージョンにDNSで手動切り替え

ニフクラをもっと知るために



お問い合わせが多い構成をご紹介します

お客様からのお問い合わせが多い構成について、ニフクラ上での構成方法をデザインパターン形式でご紹介しています

こんな方に最適です

- クラウドで何ができるのか知りたい初心者
- システム構成を検討中のクラウドアーキテクト
- クラウドデザインパターンを学びたいインフラエンジニア

WEBページとeBookをご用意

- WEBページ
 - WEB上でデザインパターンをご確認いただけます
<https://pfs.nifcloud.com/cdp/>
- eBook
 - PDFでデザインパターンをダウンロードいただけます
https://pfs.nifcloud.com/pdf/ebook/CDP_set.zip



WEB上で簡単にお見積もり

- <https://estimate.nifcloud.com/web/>
- 画面上で構成を選びカスタマイズ後、「内容を確認」ボタンを押すだけの簡単操作

見積書と構成図をファイルで出力

- 選んだ構成の見積書とネットワーク構成図を出力できます
 - 構成や金額を画面上ですぐ確認
 - PDFあるいはExcelのファイルとして出力し、お客様に提示
 - 共有URLで見積もり結果の共有も可能



eBook

『VMware vSphere®ユーザーのためのクラウド移行のポイント』『「クラウド・バイ・デフォルト原則」でどう変わる?』『「ハイブリッドクラウド」の作り方』『ニフクラユーザーのための可用性向上のポイント』などのドキュメントをご用意しています

<https://pfs.nifcloud.com/eb/>



クラウドナビ

クラウドを支える技術や関連用語をわかりやすく解説した記事コンテンツです

<https://pfs.nifcloud.com/navi/>



ニフクラブログ

ニフクラやクラウドの技術についてエンジニアが語るブログです

<https://blog.pfs.nifcloud.com/>

Appendix



- ※ CPU性能は、UnixBenchでCPU演算性能。ローカルディスク性能は、fioでディスクI/O性能（シーケンシャルWRITE・スループット）。増設ディスク性能は、vdbenchでディスクI/O性能を計測（ディスクサイズ100GB、Read : Write = 50:50、ランダムアクセス）。ネットワーク性能は、iperfでネットワークの帯域を測定しています。
- ※ インターネット接続は共用のベストエフォートです。
- ※ 2021年9月時点で各ベンチマーク測定ツールにて、ニフクラおよび国内外クラウドサービスのベンチマークを当社にて取得した結果となります。他社クラウドサービスは、カタログ上のCPUコア数を基準にメモリが最も近いスペックのものと比較しています。
- ※ 当社にて性能を保障するものではありません。



Acronis Cyber Protect Cloud DEX接続オプション

インターネットを経由せずにバックアップ/リストアが可能に

富士通データセンター（東日本）をご利用中のお客様向けに、データセンター内のお客様サーバーとAcronis環境を富士通の閉域網サービス「DEX（Digital enhanced EXchange）」経由で接続するオプションサービスを提供開始。

インターネットを経由せずに、Acronis Cyber Protect Cloudによるバックアップ/リストアが可能となります。

WEBサイトやソーシャルメディアにて、セミナー開催情報を発信しています

公式Webサイト

- <https://pfs.nifcloud.com/seminar/>



ニフクラ公式Twitter/Facebook

- Twitter
<https://twitter.com/niftycloud>
- Facebook
<https://www.facebook.com/niftycloud>

Thank you

